

# ございます

## 年頭にあたり

明けまして、おめでとうございます。

町民の皆様には、希望に満ちた新春を健やかに迎えのここと心からお慶び申し上げます。

早いもので、町長に就任をさせていただいてから間もなく2年が過ぎようとしております。その間、町民の皆様のご支援、ご協力により、各般にわたる諸施策を円滑に推進することができましたことに、心からお礼申し上げます。

さて、国においては、本格化する少子高齢化社会への対応、高度情報社会の進展、地球規模での環境問題、TPPへの参加問題、長期化するデフレ経済、国内産業の空洞化や雇用環境の悪化等の課題を抱えています。また、原発事故によるエネルギー問題への対応に加え、超高齢社会を目前に、持続可能な社会の構築に必要な「財政の健全化」と「社会保障の機能強化」の両立を図る為、「社会保障・税一体改革」が進められています。

一方、地方財政においても、高齢化等の進展により医療・福祉・保険など、社会保障関係経費等が年々増加し、財政を圧迫している状況となっております。

このため、本町では、将来を見据えた持続可能な財政運営を図るため、「上三川町財政適正化計画(H24年～26年)」に基づき、事務事業の整理見直しや経常経費の縮減等に取り組んでいるところであります。

本年の主な事業としまして、「健康福祉のまちづくり」では、「上三川いきいきプラザ」を拠点とし、将来を見据えた健康、長寿のまちづくりを積極的に推進いたします。

「子育て・教育環境の充実」では、昨年開設した「子育て支援センター」を効果的に活用するとともに、中学3年生までの医療費の助成、第3子以降の出産祝金の支給、妊婦検診・不妊治療など、安心して子どもを生み育てることができる環境の整備に努めて参ります。また、安全・安心・快適な教育環境の整備を図るため、継続して、小・中学校の耐震補強及び大規模改修に取り組んでまいります。

「市街地・交通環境の整備」では、現在運行しております巡回バスを2月末廃止し、新たに3月から、「デマンド交通」の実証運行を開始します。町民の皆様の通院や買い物など「日常の足」として、高齢者等に利用しやすい地域公共交通の構築を目指してまいります。

「消費者対策の充実」では、新たに4月から、「上三川町消費生活センター」を開設できるよう進めており、町民皆様の消費生活に関連する様々な相談について、解決のための支援を行ってまいります。

本年は、後期基本計画の3年目の年でございます。町の将来像「より安心・安全で活力のあるまち 上三川」の実現に向け、職員一丸となって取り組んでまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、平成25年が皆様にとりまして、希望に満ち溢れた年となりますことを心からご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



上三川町長  
ほし の みつ とし  
星 野 光 利

# あけまして おめでとう

新年明けましておめでとうございます。

上三川町議会議長の隅内でございます。輝かしい新年を町民の皆様とともに迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

年頭に当たり、上三川町議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

国は景気対策のため様々な施策を講じておりますが、デフレ脱却や円高の是正にはいたっており、景気の回復を実感できる状況にはありません。また社会保障と税の一体改革、環太平洋経済連携協定(TPP)への参加などの政治が直面している課題が山積しております。

上三川町政においては、少子高齢化への対策、産業の振興、商店街の活性化などの課題を抱えております。このような中、議会と議員が果たすべき役割及び責任の重要性は高まってきております。

議会の果たすべき役割は、条例の制定又は改廃、予算案などの議決のみでなく、行政への監視、議員自らが政策を提言するなど、町民の代表として町民皆様の声を行政に反映させることでもあります。

地域主権が叫ばれる今日、上三川町議会としては、これからの時代にふさわしい議会を目指すため、「議会活性化に向けた改革検討会」を設置し、議会基本条例研究、議会情報の公開、公聴のあり方、議員倫理など議会活性化に向けた議論を重ね、町民から信頼される議会を目指しているところです。

新たな年を迎え、私ども16名の議員は上三川町民の代表として、二元代表制の下、その役割と責任の重さを自覚し、町民31,600名の幸せのため全力を尽くしてまいりますので、町議会へのさらなるご支援をお願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



上三川町議会議長  
すみ うち まさ み  
隅 内 正 美

